

校長室だより

No. 2

平成 27 年 4 月 17 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

教育目標と本年度の重点目標

本校の歴史と伝統の上に立ち、未来を見据えた教育活動を展開するため、平成 27 年度の学校経営方針を次のように立てました。

本年度も教育目標は変わりません。しかし、平成 23 年度から実施された学習指導要領による教育課程も 4 年が過ぎ、本年度から小改訂された新しい教科書での学習が始まります。これまでの反省をふまえ、本年度の重点目標を、次頁のようにしました。



(1) 本校の教育目標

校訓「誠」の精神を支柱に、「いつもにこにこ元気な子」をスローガンに掲げて、次のようなめざすべき子供像をもって本校の教育目標とする。

- ・べんきょうがだいすきな子 (確かな学力の育成)
- ・うんどうがだいすきな子 (たくましい体力の育成)
- ・ちゅうぶがだいすきな子 (心豊かな子の育成)

(2) 経営方針

ア 学習指導要領をふまえた教育課程の編成のもと、「確かな学力」を身につけ「生きる力」をもった子供を育てる教育活動を展開する。

イ ESD プロジェクトを推進し、教材、教科、人、地域との「つながり」や「かかわり」を基に、未来に対して責任のある生き方ができる子を育成する。

ウ 運動する機会や時間を確保するとともに、特色ある運動を取り入れ、楽しみながら柔軟性を高めることと、体力の増進を図る。

エ 日本の伝統文化や季節感を大事にし、本物に触れる、体験する活動を充実させ、郷土を愛する心を育てる。

オ 専門職としての自覚をもち、たゆまぬ研修と研究に努め、授業力・指導力の向上を図るとともに、知識・技能・教養を高める。

カ 保護者や地域の人々に愛され、信頼される学校、地域とともに歩む学校づくりを教職員一体となって取り組む。

(3) 本年度の重点努力目標

ア ベんきょうがだいすきな子を育てる

- ・正しい姿勢や学習用具の正しい使い方を身につけさせるとともに、人の話を共感的に受け止めじっくり考える姿勢を育成する。
- ・基礎・基本の定着を図り知識・技能を活用することができるようにし、「見通し」「振り返り」を大切にした問題解決的な学習により、思考力を育成する。
- ・子供のものの見方や考え方、感じ方の理解に努め、意欲関心を高めたり実践力を育成したりするための時間・場所・ものの整備に努める。

イ うんどうがだいすきな子を育てる

- ・運動に親しみバランスのよい体力を身につけるために、準備運動の方法や種目・教材の開発など、授業改善に努める。
- ・集会や長い休憩時間に、運動に親しむことができる遊びや道具の紹介、環境づくりに努める。
- ・竹馬、一輪車、縄跳びなどの運動を取り入れ、成果を自覚する場をもつ。

ウ ちゅうぶがだいすきな子を育てる

- ・本年度行われる悠紀斉田 100 周年記念行事を核に、100 周年記念行事への参加はもとより、中部学区の歴史・伝統・文化を教材化し、学習活動を展開する。
- ・地域の人から学ぶ活動や地域の人とともに行う活動と、六ツ美中学校との兄弟学級の交流、校内での異年齢交流を充実し、地域の人と学ぶ活動を重視する。
- ・地域の自然を見つめたり、自然の中で体験したりする活動を大切にする。

この本年度の重点目標を、より具体化した活動は、今後このおたよりで示したり、実際の取り組みを紹介したりしていきたいと思えます。教育目標が実現できるように努力していきます。どうぞ、御支援をお願いいたします。

次号は、職員組織を御紹介します。

